



桜の  
ある風景

稲生川ふれあい公園の 日本三大桜



伊佐沢の久保桜



山高神代桜



根尾谷淡墨桜

十和田市では「官庁街通り」の他に多くの場所で桜を楽しむことができます。その一つに「稲生川ふれあい公園」があります。稲生川沿いに造られた同公園は、全長3.6km、親水水路や遊歩道、休憩施設が整備されており、地域住民の散歩コースとして親しまれています。公園内には多くの桜が植えられています。下流部にある「稲生川悠久」の記念碑付近では、「日本三大桜」の3本の桜を見ることが出来ます。

この桜は、今から10年前の平成16年6月、十和田市の市制施行50周年を記念し、仙台市の「30世紀に桜をのこす会」(阿部壽会長)の皆さんが中心となり、国の天然記念物にも指定されている山梨県武川村(現在は北杜市)の「山高神代桜」、岐阜県根尾村(同本巣市)の「根尾谷淡墨桜」、山形県長井市の「伊佐沢の久保桜」の「日本三大桜」の苗木を植樹しました。

現在、3本の桜は近隣地域16町内会で組織されている「稲生川せせらぎ活動委員会」(平野隆夫会長)らの手により大切に育てられています。毎年、春になると周囲に咲くソメイヨシノとは一味違う花の色、形を見せ、訪れたかたの目を楽しませてくれます。

Interview

「十和田稲生の桜」、  
千年先まで伝えてほしい

「今年、10年振りに関係者が集まってお花見をやりましたよ」と、笑顔で話すのは「30世紀に桜をのこす会」理事の佐々木泰二さん。

当時を振り返り、「会の中では弘前という話もありましたが、十和田にも官庁街通りという桜の名所がある。県内の桜は弘前ばかりじゃないよなど、十和田に決まりました。植樹の際は、他の会員から十和田市の人たちの取り組み熱意が素晴らしいと言われましたよ」と、うれしそうに会として県内初の植樹となったいきさつを話してくれました。

「稲生の桜は、千年先まで生きます。親から子、孫へと伝え、桜を見守り続けてほしいですね」と、未来の姿を思い浮かべ、目を細めていました。



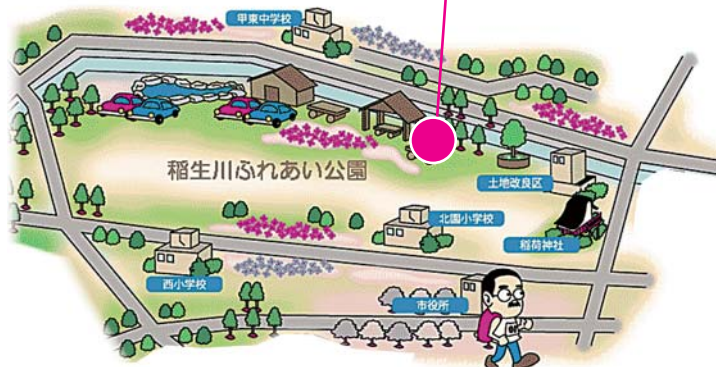
30世紀に桜をのこす会  
理事 佐々木泰二さん

ご案内

「日本三大桜」は、北園小学校から北に約700m、稲生川沿いにある遊歩道を西に約600mほど行くと建てられている「稲生川悠久」の記念碑の西隣りに植えられています。



「稲生川悠久」の記念碑



人口と世帯 平成26年4月末現在 ※ ( ) 内は前月比

■人口/64,266人(+149人) 男/30,761人(+84人) 女/33,505人(+65人)  
■世帯数/27,153世帯(+168世帯)



～今日も無事でいてほしい～  
みんなでつろう安全・安心なまち  
セーフコミュニティ十和田